平成25年12月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年７月25日

上場会社名　　三菱鉛筆株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　7976　　ＵＲＬ　http://www.mpuni.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役　　（氏名）数原　英一郎
問合せ先責任者　（役職名）経理部長　　（氏名）長谷川　直人　　ＴＥＬ　03-3458-6215

四半期報告書提出予定日　　平成25年８月８日　　配当支払開始予定日　平成25年９月４日
四半期決算補足説明資料作成の有無：　無
四半期決算説明会開催の有無　　：　無

（百万円未満切捨て）

１．平成25年12月期第２四半期の連結業績（平成25年１月１日～平成25年６月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第２四半期	28,089	6.9	4,315	32.2	5,256	48.0	3,188	48.7
24年12月期第２四半期	26,273	0.1	3,264	△9.4	3,552	△4.2	2,145	△14.2

（注）包括利益　25年12月期第２四半期　5,664百万円（125.1%）　24年12月期第２四半期　2,516百万円（5.0%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第２四半期	109.95	―
24年12月期第２四半期	73.95	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年12月期第２四半期	76,335	56,420	72.7	1,913.94
24年12月期	70,027	51,179	71.9	1,736.52

（参考）自己資本　25年12月期第２四半期　55,508百万円　24年12月期　50,363百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	―	12.50	―	13.50	26.00
25年12月期	―	13.00			
25年12月期（予想）			―	13.00	26.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無
24年期末配当金13円50銭は、「ポスカ」発売30年記念配当金１円を含んでおります。

３．平成25年12月期の連結業績予想（平成25年１月１日～平成25年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,000	2.8	6,700	9.5	7,000	7.3	4,200	7.7	144.82

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無

４．その他

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料Ｐ３「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧下さい。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 有
④ 修正再表示 ： 無

（注）「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の５に該当するものであります。詳細は、添付資料Ｐ．３「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

（４）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年12月期２Ｑ	32,143,146株	24年12月期	32,143,146株
② 期末自己株式数	25年12月期２Ｑ	3,141,064株	24年12月期	3,140,388株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年12月期２Ｑ	29,002,427株	24年12月期２Ｑ	29,006,799株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

予想数字につきましては、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして実際の業績等は、様々な要因の変化などにより、予想とは異なる場合があることをご承知おき下さい。業績予想の前提となる条件等につきましては添付資料Ｐ．３「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧下さい。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
（４）追加情報 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（５）セグメント情報等 …… 9
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間（平成25年１月１日から平成25年６月30日まで）のわが国経済は、大胆な金融緩和政策を背景に円安・株高が一段と進行し、輸出企業を中心に企業業績にも持ち直しの兆候がうかがえるなど、穏やかながらも景気回復への期待感が高まってまいりました。その反面、急激に進んだ円安の影響から輸入資材や燃料、一部食料品に価格上昇の動きも見られ景気の下振れも懸念されることから、実体経済が回復したと感じるまでには至っておらず、全体としては先行きが不透明な状況で推移しました。

当社グループが属しております筆記具の業界におきましても、輸出環境の好転や消費者マインドに穏やかな改善傾向が見られる一方で、市場競争は国内外を越えて激しさを増しつつあり、お客様の品質、価格に対する選別の目は一層厳しくなってまいりました。

このような経営環境の中、当社グループは、「最高の品質こそ最大のサービス」という社是のもと、高付加価値で高品質な商品開発を行ってまいりました。発売30年を迎えたポスターカラーマーカーの「ポスカ」、そして「ジェットストリーム」や「クルトガ」「スタイルフィット」といった主力商品の販売に注力する一方で、ノック式ボールペン「ユニボールシグノRT１」や蛍光ペン「プロマークビュー」を新たに発売するなどして、多様化するお客様のニーズや価値観にもお応え出来るよう努めてまいりました。

この結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は280億89百万円（前年同期比6.9％増）となりました。また、営業利益は43億15百万円（前年同期比32.2％増）、経常利益は52億56百万円（前年同期比48.0％増）四半期純利益は31億88百万円（前年同期比48.7％増）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

筆記具及び筆記具周辺商品事業は、主力商品の販売が堅調に推移したことに加えて、円安の影響も加わり、この結果、外部顧客に対する売上高は267億52百万円（前年同期比7.5％増）となりました。一方、その他の事業は手工芸品及び粘着テープ事業共に市況が厳しく、この結果外部顧客に対する売上高は13億37百万円（前年同期比2.9％減）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産に関する分析

当第２四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べて63億７百万円増加し763億35百万円となりました。これは主として現金及び預金が29億65百万円、受取手形及び売掛金が14億９百万円増加し、流動資産が42億50百万円増加したのに加え、投資有価証券が20億76百万円増加したことによります。

負債は、前連結会計年度末に比べて10億66百万円増加し199億14百万円となりました。これは主として流動負債が２億78百万円、固定負債が７億87百万円増加したことによります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて52億41百万円増加し564億20百万円となりました。これは、主として利益剰余金が27億99百万円、その他有価証券評価差額金が13億84百万円増加したことによります。

キャッシュ・フローに関する分析

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」）という）は、前連結会計年度末に比べて28億45百万円増加し237億26百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、主に税金等調整前四半期純利益50億66百万円、減価償却費６億58百万円、一方使用した資金は主に法人税等の支払額15億71百万円であり、この結果34億３百万円と前年同期に比べて１億78百万円の減少となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動に使用した資金は、主に固定資産の取得による支出５億38百万円、定期預金の預入による支出３億32百万円、一方得られた資金は定期預金の払戻による収入２億58百万円であり、この結果６億77百万円と前年同期に比べて72百万円の支出の増加となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動に使用した資金は、主に配当金の支払額３億89百万円であり、この結果４億１百万円と前年同期に比べて１億15百万円の支出の減少となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間の当初業績予想との差異につきましては、本日（平成25年７月25日）公表の「平成25年12月期第２四半期連結累計期間業績予想との差異に関するお知らせ」をご覧下さい。

なお、通期の連結業績予想につきましては、国内外の市場の動向を慎重に見極める必要があること、また為替の動向も依然として不透明なため、平成25年２月15日に公表いたしました業績予想値を据え置くことといたします。今後の動向を踏まえ修正が必要と判断された場合には速やかに開示いたします。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

当社及び一部連結子会社の税金費用については、当第２四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成25年１月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる損益に与える影響額は軽微であります。

（４）追加情報

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年12月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,368	25,334
受取手形及び売掛金	13,546	14,955
たな卸資産	11,744	11,466
その他	1,935	2,111
貸倒引当金	△113	△136
流動資産合計	49,481	53,732
固定資産		
有形固定資産	11,591	11,564
無形固定資産	134	146
投資その他の資産		
投資有価証券	7,012	9,089
その他	1,811	1,807
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	8,819	10,891
固定資産合計	20,546	22,602
資産合計	70,027	76,335

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年12月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,139	7,249
短期借入金	1,461	1,510
未払法人税等	1,508	1,622
賞与引当金	410	409
返品引当金	60	71
その他	4,198	4,193
流動負債合計	14,778	15,057
固定負債		
長期借入金	5	2
退職給付引当金	2,575	2,507
役員退職慰労引当金	721	777
環境対策引当金	29	29
負ののれん	82	49
その他	655	1,490
固定負債合計	4,069	4,857
負債合計	18,848	19,914
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,497	4,497
資本剰余金	3,583	3,583
利益剰余金	44,438	47,237
自己株式	△3,314	△3,315
株主資本合計	49,204	52,002
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,659	3,043
繰延ヘッジ損益	△33	5
為替換算調整勘定	△466	456
その他の包括利益累計額合計	1,159	3,505
少数株主持分	815	912
純資産合計	51,179	56,420
負債純資産合計	70,027	76,335

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年６月30日）
売上高	26,273	28,089
売上原価	14,180	14,549
売上総利益	12,093	13,540
販売費及び一般管理費	8,828	9,224
営業利益	3,264	4,315
営業外収益		
受取利息	12	11
受取配当金	92	103
受取地代家賃	70	69
負ののれん償却額	32	32
為替差益	83	678
その他	80	116
営業外収益合計	372	1,011
営業外費用		
支払利息	6	7
持分法による投資損失	13	3
シンジケートローン手数料	27	27
売上割引	15	16
その他	21	15
営業外費用合計	84	70
経常利益	3,552	5,256
特別利益		
固定資産売却益	3	5
特別利益合計	3	5
特別損失		
固定資産除売却損	14	9
減損損失	33	－
投資有価証券評価損	－	168
会員権評価損	12	－
代理店契約解約損	100	18
特別損失合計	159	195
税金等調整前四半期純利益	3,395	5,066
法人税等	1,190	1,788
少数株主損益調整前四半期純利益	2,205	3,277
少数株主利益	60	88
四半期純利益	2,145	3,188

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	2,205	3,277
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	234	1,379
繰延ヘッジ損益	2	39
為替換算調整勘定	76	963
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	4
その他の包括利益合計	310	2,386
四半期包括利益	2,516	5,664
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,448	5,534
少数株主に係る四半期包括利益	68	129

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,395	5,066
減価償却費	732	658
減損損失	33	－
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△43	17
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△5	△72
前払年金費用の増減額（△は増加）	124	16
受取利息及び受取配当金	△105	△114
支払利息	6	7
為替差損益（△は益）	△51	△584
持分法による投資損益（△は益）	13	3
投資有価証券評価損益（△は益）	－	168
代理店契約解約損	100	18
売上債権の増減額（△は増加）	129	△1,033
たな卸資産の増減額（△は増加）	54	625
仕入債務の増減額（△は減少）	△9	79
未収消費税等の増減額（△は増加）	161	149
その他	238	△119
小計	4,775	4,885
利息及び配当金の受取額	105	114
利息の支払額	△6	△7
法人税等の支払額	△1,241	△1,571
代理店契約解約金の支払額	△50	△18
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,582	3,403
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△662	△538
固定資産の売却による収入	16	32
投資有価証券の取得による支出	△0	△89
投資有価証券の売却による収入	－	0
貸付けによる支出	△18	△8
貸付金の回収による収入	118	7
定期預金の預入による支出	△163	△332
定期預金の払戻による収入	113	258
その他	△8	△6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△605	△677
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△91	29
長期借入金の返済による支出	△3	－
自己株式の取得による支出	△1	△1
少数株主からの払込みによる収入	13	－
配当金の支払額	△403	△389
少数株主への配当金の支払額	△25	△32
その他	△4	△7
財務活動によるキャッシュ・フロー	△517	△401
現金及び現金同等物に係る換算差額	28	520
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	2,488	2,845
現金及び現金同等物の期首残高	18,163	20,881
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,652	23,726

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自　平成24年１月１日　至　平成24年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	筆記具及び筆記具周辺商品事業	その他の事業	合計	調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
売上高					
外部顧客への売上高	24,896	1,376	26,273	－	26,273
セグメント間の内部売上高又は振替高	5	24	30	△30	－
計	24,902	1,401	26,303	△30	26,273
セグメント利益	3,221	29	3,251	13	3,264

（注）１．セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

筆記具及び筆記具周辺商品事業セグメントにおいて、売却が決定した資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失（33百万円）として特別損失に計上しております。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自　平成25年１月１日　至　平成25年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	筆記具及び筆記具周辺商品事業	その他の事業	合計	調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
売上高					
外部顧客への売上高	26,752	1,337	28,089	－	28,089
セグメント間の内部売上高又は振替高	13	9	23	△23	－
計	26,765	1,346	28,112	△23	28,089
セグメント利益	4,253	49	4,302	12	4,315

（注）１．セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。